

ふくい街角景気速報

(平成23年4月分)

調査期間 平成23年4月15日～25日 (回答率：96%)

概況

景気の現状判断DIは32.8となり、前月に比べ15.9ポイント低下した。また、景気の先行き判断DIは33.1となり、前月に比べ6.2ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 32.8 (前月比 ▲15.9)

企業部門を見ると、繊維や眼鏡の企業では商品の納入延期や新規受注が減少しているとの声が聞かれた。一方、化学などの一部の企業では災害特需などにより受注が増加しているとの声も聞かれた。

家計部門を見ると、多くの業種で、東日本大震災による自粛ムードや消費マインドの低下により、客数、販売量などが減少したとの声が聞かれた。

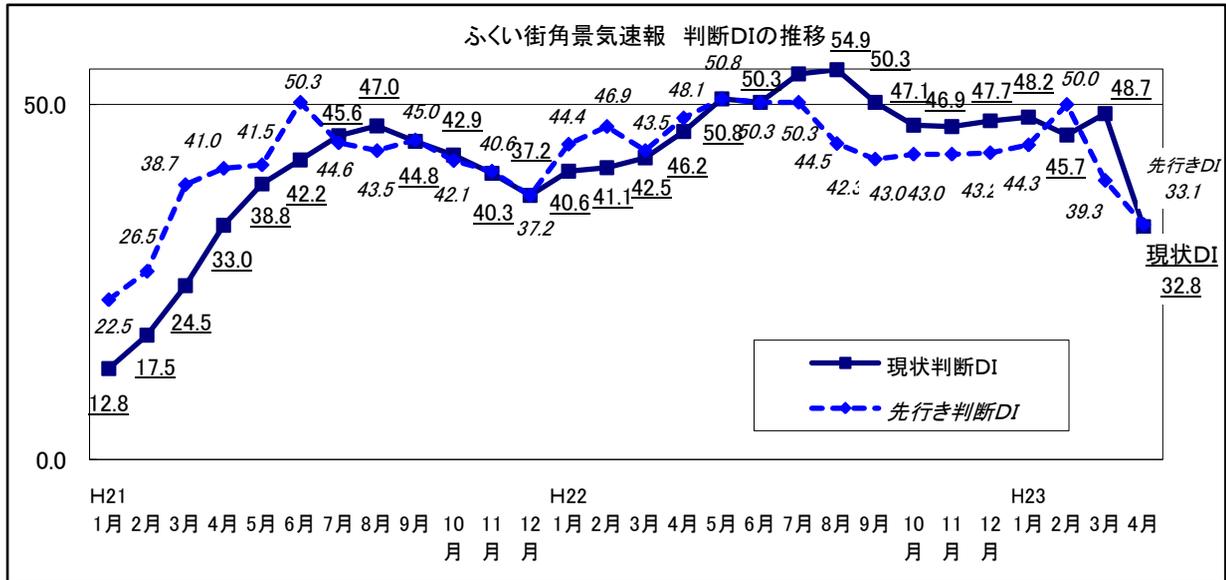
雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、震災の影響により、企業の採用活動の延期や求人数の減少など、雇用に影響が出ているとの声が聞かれた。

■景気の先行き判断DI 33.1 (前月比 ▲6.2)

家計部門を見ると、震災の影響から、消費者の購買意欲の低下による消費の落ち込みが長期化するのではないかと心配する声が多く聞かれた。

企業部門を見ると、被災地の復興や原発問題が長引くことにより、資材不足の長期化や新規受注の減少、消費の停滞などを懸念する声が多く聞かれた。

雇用部門を見ると、地震の影響が長期化することによる雇用環境の悪化を心配する声が聞かれた。



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	3 P
3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
(2) 景気の先行き判断の理由	7 P
4. 参考 (1) 調査対象の構成	10 P
(2) 調査票	11 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	21	13	5
坂井	坂井市、あわら市	14	8	6	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	17	7	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	10	6	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、32.8となり、3か月ぶりに減少した。
先月と比べ、家計動向関連、企業動向関連、雇用関連のいずれも低下した。また、悪化しているとする回答が増加し、全体の約2/3を占めた。

企業部門を見ると、繊維や眼鏡の企業では商品の納入延期や新規受注が減少しているとの声が聞かれた。一方、化学などの一部の企業では災害特需などにより受注が増加しているとの声も聞かれた。

家計部門を見ると、多くの業種で、東日本大震災による自粛ムードや消費マインドの低下により、客数、販売量などが減少したとの声が聞かれた。

雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、震災の影響により、企業の採用活動の延期や求人数の減少など、雇用に影響が出ているとの声が聞かれた。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H22 11	H22 12	H23 1	H23 2	H23 3	H23 4	(前月差)
合計		46.9	47.7	48.2	45.7	48.7	32.8	▲15.9
家計動向関連		47.0	46.9	45.4	39.8	45.5	28.1	▲17.4
小売		50.0	48.5	47.8	41.9	47.9	30.9	▲17.0
飲食		31.3	37.5	31.3	31.3	25.0	12.5	▲12.5
サービス		43.2	45.5	43.2	36.4	45.5	25.0	▲20.5
企業動向関連		45.7	46.4	49.3	48.6	51.4	40.7	▲10.7
製造業		44.0	50.0	50.0	51.0	52.0	45.0	▲7.0
非製造業		50.0	37.5	47.5	42.5	50.0	30.0	▲20.0
雇用関連		50.0	53.8	55.8	59.6	53.8	29.2	▲24.6

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(3月調査結果)
現状判断DI 27.7

○回答別構成比

	年 月	H22 11	H22 12	H23 1	H23 2	H23 3	H23 4	(前月差)
良くなっている		3.1%	1.0%	1.0%	0.0%	1.0%	1.0%	+0.0
やや良くなっている		16.5%	17.7%	16.5%	22.4%	16.3%	7.3%	▲9.0
変わらない		50.5%	53.1%	58.8%	40.8%	62.2%	25.0%	▲37.2
やや悪くなっている		24.7%	27.1%	21.6%	33.7%	17.3%	55.2%	+37.9
悪くなっている		5.2%	1.0%	2.1%	3.1%	3.1%	11.5%	+8.4

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、33.1となり、2カ月続けて低下した。
先月に続き、全ての部門で低下した。また、悪化するとの回答が全体の約2/3を占めた。

家計部門を見ると、震災の影響から、消費者の購買意欲の低下による消費の落ち込みが長期化するのではないかと心配する声が多く聞かれた。

企業部門を見ると、被災地の復興や原発問題が長引くことにより、資材不足の長期化や新規受注の減少、消費の停滞などを懸念する声が多く聞かれた。

雇用部門を見ると、地震の影響が長期化することによる雇用環境の悪化を心配する声が多かった。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H22 11	12	H23 1	2	3	4	(前月差)
合計		43.0	43.2	44.3	50.0	39.3	33.1	▲6.2
家計動向関連		44.0	43.8	41.8	49.0	36.5	33.2	▲3.3
小売		45.7	43.2	44.9	49.3	40.0	33.8	▲6.2
飲食		31.3	37.5	18.8	56.3	18.8	18.8	+0.0
サービス		43.2	47.7	40.9	45.5	31.8	36.4	+4.6
企業動向関連		40.0	42.1	44.3	47.9	42.9	34.3	▲8.6
製造業		42.0	46.0	47.0	51.9	48.0	35.0	▲13.0
非製造業		35.0	32.5	37.5	37.5	30.0	32.5	+2.5
雇用関連		47.9	44.2	53.8	59.6	40.4	29.2	▲11.2

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(3月調査結果)
先行き判断DI 26.6

○回答別構成比

	年 月	H22 11	12	H23 1	2	3	4	(前月差)
良くなる		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなる		11.3%	10.4%	13.4%	23.5%	15.3%	8.3%	▲7.0
変わらない		55.7%	55.2%	54.6%	56.1%	35.7%	26.0%	▲9.7
やや悪くなる		26.8%	31.3%	27.8%	17.3%	39.8%	55.2%	+15.4
悪くなる		6.2%	3.1%	4.1%	3.1%	9.2%	10.4%	+1.2

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
①良くなっている	家計 動向	丹南	クリーニング店	・春の割引セールの利用により、客数などが増加している。	
②やや良くなっている	家計 動向	丹南	スーパー	・客数は微増、販売量は飲料や乾麺、缶詰類を中心に増加しているものの、客単価は変わらず。	
		嶺南	ドライブイン	・販売量が増加した。	
	企業 動向	坂井	一般機械	・震災の影響で、設備計画に変更が出るのではないかと心配しているが、現在のところ持ち直して計画通り進められてきている。	
		奥越	電気機械	・受注量・販売量とも増加傾向である。	
		丹南	鉄鋼	・震災特需から受注量の動きがやや良くなっている。	
		坂井	非鉄金属	・震災の影響と夏場の関東計画停電懸念で、夏場前駆け込みで足下注文量が増えている。	
③変わらない	家計 動向	丹南	小売店	・まとめ買いするということが少なくなっている。	
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・3月は大きく前年割れした。 ・4月に入り気温の上昇も手伝い、売上高は前年確保した。 ・3月のトレンドダウンに歯止めをかけるため、奉仕商品の拡大等を実施し、4月好調の要因となっている。	
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・震災から1ヶ月が経過し、4月の売上高は前年確保した。 ・本年は桜開花も去年より遅く弁当類、酒と順調。 ・一方、原発問題、計画停電の先が見えない状況で不安定要素が多く、今後の景気の安定はまだ先になると思われる。	
		坂井	百貨店、 ショッピングセンター	・3月は客単価や売上高が対前年比大幅減となったものの、4月は、客単価、売上高ともに前年比変わらず。	
		坂井	スーパー	・今は震災需要のため好調な面があるが、一過性のものとする。	
		福井	駐車場	・利用者台数は3ヶ月前と比べ増加しているものの、昨年同月比では減少しているおり、収入額も減少している。	
		企業 動向	福井	一般機械	・昨年末から景気自体は上向きで推移してきたが、震災の影響で国内景気は停滞してきた。 ・輸出は徐々に増加中。
	福井		一般機械	・受注量や販売量の動きに変化がない。	
	丹南		電気機械	・先行き不透明感が強い。	
	嶺南		電気機械	・円高の影響もあり、製造の海外シフトが加速されているが、原材料の上昇、海外の人件費高騰が続いており、コスト圧迫要因となっている。 ・一方、売価は市場が成長している海外の発展途上国向けの売上比率が上がっており、新興国ローカルメーカーとの競合となるケースも多く、厳しい状況が続いている。	
	嶺南		化学・プラスチック	・災害特需と漁業資材の注文が入り、災害地向けの資材は忙しいが、一方で観光関係の商品は出足が鈍い。	
	福井		化学・プラスチック	・一部の商品では東日本大震災の特需はあるものの、原材料供給に支障をきたしているものもあり、住宅用資材が大きく増加しているところまでは至っていない。	
	嶺南		医薬品	・景気に左右されられると思われる一般医薬品、健康食品に回復の動きが見えない。	
	福井		運輸	・売上の前年比増加率は若干落ち着いたものの、絶対額はそれなりの水準を維持している。	
	雇用		嶺南	ジョブカフェ担当者	・求職者から求人数が少なくなったと感じるという声がよく聞かれる。
			福井	人材派遣会社	・求人数の動きに変化がない。
	④やや悪くなっている		家計 動向	嶺南	商店街
		嶺南		商店街	・商店街関係者にアンケートした結果、やや悪くなるとする回答が多かった。

④やや悪くなっている	家計 動向	福井	小売店	・販売量や単価の動きがやや悪化している。
		坂井	小売店	・震災の影響により、県外客（旅行客）が減少している。
		丹南	小売店	・震災後、自粛ムードが広がり全体的に悪くなっている。
		奥越	小売店	・東日本大震災による自粛ムードにより、販売量などが減少している。
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・趣味嗜好の要素の強い美術、時計は安定しているが、宝飾が前年比半 分以下と極端に悪化している。
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・東日本大震災による自粛ムードで、一部業種を中心に影響が見られ る。
		丹南	百貨店、 ショッピングセンター	・客数や客単価が減少傾向にあり、また、客の消費意欲も低下している と感じられる。
		奥越	百貨店、 ショッピングセンター	・震災後の動向が気になる。
		嶺南	百貨店、 ショッピングセンター	・3月は客数が減少している。 ・4月は、客の購買意欲が低下していると同時に、食品の定番品やたば こなどの欠品が目立っている。
		奥越	百貨店、 ショッピングセンター	・客数、販売数、売上いずれも対前年比マイナスが続いている。 ・大地震で自粛ムードがある。
		丹南	スーパー	・客数は増加傾向だが、購入点数や単価は下落傾向にある。 ・震災の影響で商品の入荷も安定せず、代替品や在庫品等で売り場は維 持できているが、客のニーズにあっていないため、売れ行き状態が良く ない。
		福井	スーパー	・東日本震災を受けて、日用品や保存食、飲料など特需の部門もある が、福島県産などの野菜、水産加工物で欠品などがあり、事前予約の客 に対する返金作業があった。
		嶺南	スーパー	・東日本大震災により、買い控えが感じられる。
		福井	大型小売店	・節約ムードがあり、客数が伸びない。
		嶺南	大型小売店	・競合店のオープンやTV等の単価下落でやや悪くなっている。
		嶺南	コンビニエンススト ア	・震災に伴う自粛ムードにより来客数が減少している。
		嶺南	コンビニエンススト ア	・消費マインドが低下している。
	福井	ビジネスホテル	・GWの予約状況が悪く、特に後半が悪い。 ・例年は定価販売を行っているが、今年は定価販売では予約が入らない ため、客単価は落ちている。	
	企業 動向	坂井	繊維	・東日本大震災の今後の影響が懸念される。
		福井	繊維	・取引先から納入延期の申し出があった。 ・取引先等にほとんど動きがなく、先行きが全く読めない。
		奥越	繊維	・東日本大震災の影響で車関連（カーシート）関連の生産にブレーキが かかり、生産調整をやむなくされている。 ・自動車の組立てがストップするとその部材が供給できず、途中在庫を 増やすこともできない。 ・この状態がいつまで続くのか不明だが、衣料関係については堅調に推 移している。
		坂井	繊維	・新規の受注がなく、震災の影響が出ていると考えている。
		丹南	眼鏡	・受注が増えつつあったが、震災後は新企画の話は少ない。 ・他社では震災の影響から既注文の納品延期などがあると聞いている。
		丹南	眼鏡	・東日本大震災後、商品の納入延期が出ており、また、次の注文書が出 ていない。
		丹南	眼鏡	・大雪、大震災で消費者の購買意欲が非常に低下していると感じる。
		丹南	伝統工芸	・販売数量が減少している。
		嶺南	商社	・震災後の自粛ムードによる観光客の減少が顕著。

④やや悪くなっている	企業 動向	福井	商社	・工場向け重油、運送向け軽油、個人ガソリンいずれも前年を大きく下回る。
		福井	IT関連	・震災の影響により取引先の需要減退が懸念される。
		福井	金融機関	・震災の間接被害により、低迷は不可避と考えている。
		福井	金融機関	・東日本大震災の影響により、建築業では建築資材の調達ができず、完成が遅れている。 ・観光地では予約のキャンセルが発生している等の理由により売上高が減少している。
		坂井	建設業	・東日本大震災で公共建築の発注がストップしており、また、材料も不足・高騰の状況にある。
		嶺南	建設業	・年度初めで新規業務は少ない。 ・大震災の影響から土木の民間工事も新規がない。
		福井	不動産	・全般に消費者の動きが少なくなっている。 ・4月は業界でも良いシーズンであるにもかかわらず、わき起こってくるような感じがしない。
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・市内には原材料の入手不足により生産に支障をきたしている企業もあり、先行きに対する不安材料が多い。
		福井	労働相談員	・東日本大地震の影響が大きい。
		嶺南	労働相談員	・2月の敦賀の有効求人倍率および新規求人倍率はともに前年同月を上回った。 ・また、小浜でも有効求人倍率および新規求人倍率はともに前年同月を上回った。 ・しかし、東日本大震災の影響により部材が入荷出来なくなったり、自動車関連で納入先工場の操業停止から生産調整をしている企業も出ている。
		奥越	学校就職担当者	・東日本大震災の影響が少しずつ地元企業にも押し寄せて来ていると感じる。 ・一部、自動車部品関連の工場で操業短縮という話も入って来ており、企業の採用活動にも影響が出ていると聞いている。
		福井	学校就職担当者	・企業により震災の影響は異なるが、自粛ムードや節電などで消費が落ち込んでいる。
		嶺南	学校就職担当者	・各企業にエントリーしても、多数の企業では面接等が始まっておらず、採用活動が延期されている様子である。
		福井	ジョブカフェ担当者	・求人数は若干良いように見えるが、震災の影響により求人数が減少している業種もある。
⑤悪くなっている	家計 動向	奥越	小売店	・地震の影響による自粛ムードで外出機会が減っている。
		福井	百貨店、ショッピングセンター	・東日本大震災で消費者心理に悪影響があると考えられる。
		嶺南	観光物産店	・震災の影響はかなり深刻と考えている。
		福井	割烹	・団体客のキャンセル、関東方面からの客の激減。 ・不景気に輪をかけて大変な状態である。
		嶺南	レストラン	・来客数、販売量、単価全て減少。
		嶺南	旅館	・言うまでもなく、非常に悪い。
		坂井	観光・レジャー施設	・観光客が減少している。
		坂井	旅行代理店	・東日本震災発生以降、受注の低迷・キャンセル多発で、販売量の大幅な減少が生じている。 ・自粛モードが広まっている関係で来客数も大幅に減少している。
		企業 動向	坂井	IT関連

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなる	家計動向	奥越	小売店	・地デジも100日をきり少しは商品も動き出すと思う。
		嶺南	ドライブイン	・ゴールデンウィークや観光シーズンを向かえ、観光客の増加見込みがある。
		嶺南	旅館	・今が底と考えているため、現状よりは良くなる。
	企業動向	奥越	電気機械	・ユーザーの在庫調整は済んできており、受注増の傾向にある。
		福井	鉄鋼	・復興需要が見込まれる。
		丹南	鉄鋼	・先行的な受注がある。
		嶺南	建設業	・大震災の影響もおちつき、選挙の結果も出て2～3ヶ月後には全体に自粛ムードから脱出できると期待する。
	雇用	嶺南	労働相談員	・大震災の復興と共に徐々に回復すると思う。
	③変わらない	家計動向	坂井	小売店
丹南			小売店	・昨年春先とは異なり、お花見などを控える人が多く、売上が期待できない。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・震災により、食品以外の商品群、特にファッションのトレンドダウンの可能性があり、目的買いで、タンス在庫にない自分の気に入った物を吟味して買う傾向に拍車がかかっている。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・震災不安定要素が多く、夏の計画停電によりトレンドも不安定である。
福井			百貨店、ショッピングセンター	・自粛ムードによる消費への影響がしばらく続くと思われる。
坂井			百貨店、ショッピングセンター	・東日本大震災で、経済環境の悪化が続くと予想される。 ・一部商品、懐中電灯・水などの品切れ・品薄状況も改善しつつあるが、全般的な傾向として、購買意欲の減退や節約志向が続くと思われる。 ・特に、衣料品や贅沢品などの不要不急の商品については厳しい予想である。
丹南			スーパー	・商品の入荷状況は改善すると予想されるが、食品の需要が拡大するかは不確実である。 ・各種販促による客数の掘り起こしは継続していくが、単価下落は避けられない。
丹南			スーパー	・世間で騒がれている水や乾麺などの商品だけ動きがあるが、あとは落ち着いている。
嶺南			スーパー	・大震災の影響が長期化すると予想される。
福井			大型小売店	・しばらくは被災地の映像が毎日流れるため、節約ムードが続くと思われる。
丹南		クリーニング店	・6月頃までは冬物、以降は春物と続いてほしい。	
企業動向		福井	一般機械	・環境が改善されてくると悪材料も後追いで発生し、今ひとつ改善ピッチが上がらず、当面は一進一退の状況と考えられる。
		福井	一般機械	・東日本震災の影響は、製造業にとってプラス面とマイナス面が混在している。
		嶺南	化学・プラスチック	・震災等の影響が長期化することにより、夏場に向かって電力制限等で生産活動が停滞し、それに伴い消費も伸び悩むことが予想される。 ・節約ムードや被災地を気にしたイベント等の控えムードで景気は後退する。
		福井	化学・プラスチック	・新規需要はあるものの、景気全般が戻るまでには至らないと考えている。
		福井	IT関連	・震災の影響が続くと考えている。
雇用		嶺南	ジョブカフェ担当者	・震災の影響、原発の影響を考えると、先行きの見通しが見えない。

④やや悪くなる	家計 動向	嶺南	商店街	・東日本大震災後、先行き不透明なことから購買意欲の低下に拍車がかかっている。
		嶺南	商店街	・震災の影響で、特需になる企業もあるが、やはり悪い方に影響している企業が多く、商店街にも悪影響があると考えられる。 ・団体旅行も激減しているようで、せっかくの大河ドラマの効果をうまく生かせない状況が続いている。
		福井	小売店	・東日本大震災で品物を入荷できない。 ・受注を受けても、品物不足かつ仕入れ価格が値上がりしている。
		奥越	小売店	・自粛ムード、消費停滞の状況がまだ当分続くと考えている。
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・東日本大震災の影響で株価も暴落し、今後、高額品の動きが鈍くなる可能性が高い。
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・震災の影響で消費低下の長期化が予想される。
		丹南	百貨店、 ショッピングセンター	・震災の影響が多方面で出ている。
		嶺南	百貨店、 ショッピングセンター	・当分の間、商品によっては未入荷状態が続くと考えられる。 ・3月の客単価が対前年比で低下し、世相を反映して客の消費マインドが低下していると考えられる。
		福井	スーパー	・3月中は特需部分が大きく、店舗の実績は前年を越えたものの、今後さまざまな部分で影響が出る可能性がある。
		嶺南	大型小売店	・アナログ放送停波後はケーブルテレビの売上が必ずダウンする。 ・エコキュート関連も、地震等の影響で品薄であり、エアコン等も夏に向けて品薄になる。
		嶺南	コンビニエンスストア	・震災の影響により来客数が減少している。
		嶺南	レストラン	・東日本大震災を境に、売上・客数とも極端に減少し、その傾向が続いている。
		福井	駐車場	・全般的に景気の上向き材料が乏しく、東日本大震災の影響が懸念される。
		福井	ビジネスホテル	・イベント等の自粛ムードは少し改善されたが、台湾など海外からの団体予約が入らない。 ・昨年はAPECエネルギー相会議に関連する特需があったが、今年は苦しい。
		福井	ビジネスホテル	・徐々に回復する傾向にあると思うが、自粛ムードが緩和されないと厳しい状況が懸念される。
		坂井	旅行代理店	・自粛モードから脱却できても、販売量の上昇は見込めない。
	企業 動向	坂井	繊維	・東日本大震災の影響が懸念される。
		福井	繊維	・東北地方が回復に向かいだしたら全体が動き出すと思うが、2～3ヶ月では難しいと考える。
		奥越	繊維	・東日本大震災の影響がどのくらい深刻になるか不明だが、確実に景気を押し下げられると思われる。
		坂井	繊維	・6月～7月は子供、婦人服製造の端境期となる。
		丹南	眼鏡	・納品延期のため、これまでフル稼働だったが、空白が生じてきた。 ・震災や原発の問題により、今後の新規受注にも影響があると予想される。
		丹南	眼鏡	・東日本大震災の後遺症が長引けば、更に悪くなる。
		丹南	眼鏡	・3月は売上が半減し、4月は少し動いているものの、5月は連休が多く売上が取れない。 ・3月、4月は稼ぎ時であるにも関わらず、全く売れていないため、非常に厳しい。
		丹南	電気機械	・影響の長期化により、電機や自動車など最終セットメーカーの資材等調達困難は解消しないと考えられる。
		嶺南	電気機械	・成長には中国始め発展途上国向け売上げの強化が不可欠であるが、現地での売価のデフレ傾向は止まらない。 ・一方、原価面では為替、原材料高騰、海外の人件費高騰、労働力確保難等への収益対策が大きな課題になっている。 ・加えて、今後は電子部品を中心に東北の震災の影響が懸念される。
		丹南	伝統工芸	・東日本の震災、原発事故等の影響が長期化し、消費の低迷が続くのではないかと。

④やや悪くなる	企業 動向	嶺南	商社	・復興の機運が高まれば気分的にも盛り上がり消費も上向くが、原発の影響が深刻でこの問題が収束しないと厳しさは続く。	
		嶺南	医薬品	・東日本大震災の影響から消費が振るわず、景気が下降するものと思われる。	
		坂井	非鉄金属	・震災の影響で夏場以降の受注は減ると予想している。	
		坂井	IT関連	・東日本大震災の影響が今後益々出てくると考えられる。	
		福井	金融機関	・震災の影響による間接被害により低迷は不可避。	
		福井	金融機関	・東日本大震災の影響により、売上高の減少が考えられる。	
		坂井	建設業	・国家の非常事態である。	
		福井	不動産	・大震災の影響で建築資材が窮乏を極めており、建築会社が新規受注を手控えているため、新規持家の方々の中では土地購入を見送る動きが出始めている。	
		福井	運輸	・震災の影響により部品等の調達ができず、生産活動は十分には行えないという状況になれば、輸送する製品量が減少するため、売上は低下する可能性が高い。	
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・日本全体で地震の影響が懸念される。	
		福井	労働相談員	・東日本大地震の影響が大きく、雇用面でも影響は不可避ではないか。	
		奥越	学校就職担当者	・震災・原発の影響が大きい。 ・復興に向けた増税や電気料金の値上げ等が検討されているが、自粛せざるを得ないような経済状況が今後しばらくの間続くと考えている。	
		福井	学校就職担当者	・被災地は一步一步復興していると思うが、相次ぐ余震と長期化する原発問題などで、スピード感がない。 ・放射線の風評被害が輸出でも起きており、すぐには改善されそうにない。	
		福井	ジョブカフェ担当者	・東日本大震災による企業業績の悪化や消費等の自粛ムード、物価高により求職者の状況も悪くなるのではないか。	
		福井	人材派遣会社	・東日本の震災の影響で消費マインドが冷え込んでいる。 ・工場の部品供給が一部止まっている。	
		福井	就職情報誌	・震災の影響により、車関連工場などが操業調整している。 ・求人数にも影響が出てくると考えられる。	
		嶺南	就職情報誌	・東日本大震災の影響で景気が悪化する要素が多分にある。	
	⑤悪くなる	家計 動向	奥越	百貨店、 ショッピングセンター	・観光、消費、流通は自粛機運で暫くは戻らないと考えている。 ・地域の中小製造業への影響が心配される。
			坂井	スーパー	・震災や原電事故による将来の不安、日本国内製品の風評被害による海外からの需要の減少が生じている。
嶺南			コンビニエンスストア	・欠品が多く、商品供給が安定しない。	
嶺南			観光物産店	・福島原発が収束しない限り、原発を地元を持つ観光地へは客が来ない。	
福井			割烹	・東北地方の復興の目途がたたず、2次災害、3次災害と枠が広がっていくばかりである。 ・間違いなく消費税は上がっていくだろうが、間接的に被害を受けている企業等への支援はどのなるか不安である。	
坂井			観光・レジャー施設	・県外からの来県者が減少している。	
企業 動向			坂井	一般機械	・震災の影響で、受注しても部品が入手できないため、新規受注が減少すると考えられる。 ・台湾や韓国、中国など海外では、放射線の心配で輸出を拒否される可能性も出てきている。 ・関東地区の計画停電による生産減少で材料などの不足が続く事も懸念される。
		福井	商社	・ガソリンの個人消費や工場向け重油、運輸・漁連向け軽油も大幅に悪化すると予測される。	
雇用		嶺南	学校就職担当者	・東北大震災の影響により今後雇用環境が悪化する様に感じられる。	

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)